

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人かながわアドバンスサポート

② 施設・事業所情報

名称：生麦保育園	種別：保育所	
代表者氏名：田淵 弘子	定員（利用人数）：100 名	
所在地：横浜市鶴見区生麦4-25-12		
TEL：045-502-1770	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1975年6月10日（2014年4月1日横浜市より民間移管）		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 尚徳福祉会		
職員数	常勤職員： 14 名	非常勤職員 7 名
専門職員	園長 1 名	栄養士 3 名
	保育士 20 名	事務 1 名
	看護師 1 名	
施設・設備 の概要	保育室 3 室	調理室 1 室
	乳児室 3 室	調乳室 1 室
	事務室 1 室	園庭 390.17㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

- ・子どもたちの健康と安全を守り、豊かな人間性を持った育ちを援助します。
- ・子どもたちの健やかな育成の手助けをします。
- ・子どもたちの健康と安全を確保し、安定した自己発揮できる場所を提供し子どもの育ちを見守ります。また家庭と協力し、自己発揮しながら感情の抑制のできる健全で豊かな人間性を持った子供の育ちを援助します。

【保育目標】

- ・いきいきと活動する子ども
- ・思いやりの気持ちをもてる子ども

【保育姿勢】

- ・子ども一人ひとりの発達の道筋を受け止め、安心して生活できるようにする。
- ・健康な体と豊かな心を育てるようにしていく。
- ・保護者と信頼関係を築き、共に子どもの成長を喜びあう。
- ・いろいろな遊びや経験を通して共感しあう。

④施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

生麦保育園は横浜市鶴見区生麦に立地する保育園です。京浜急行生麦駅から徒歩7分、隣は生麦小学校です。昭和47年市立保育園として開設、平成26年に民間移管され社会福祉法人尚徳福祉会<本部鳥取県米子市、理事長谷本要>が運営をしています。本福祉法人は平成8年に設立認可を受け、病児保育施設「病児看護センターベアーズデイサービス」、および、認可保育園「保育園ベアーズ」（現認定こども園ベアーズ）を開設し、介護老人保健施設、学童保育施設等を複数施設運営しており、保育

園は生麦保育園を含め20施設あり、うち神奈川地区では8園運営しています。

現在の生麦保育園は昭和47年〈1972年〉以来、船の形をした建物として約半世紀の間地域の子育て拠点として親しまれ、数多くの卒園生を送り出してきました。

敷地1、348平米、鉄筋コンクリート造り2階建て延べ602平米 園庭390平米で1階に事務室、調理室、2歳から5歳児の保育室が4室 園庭とプールが設備されています。2階は乳児室と職員更衣室と休憩所そしてテラスがあります。

#### 【園の特徴】

##### ・下町情緒あふれる園の周辺、保護者負担を減らす。

本園は道を隔てて生麦小学校があり、魚河岸通りや幕末の生麦事件の跡地、町内のブロックごとにある神社など、旧東海道沿いには古い昔風の家屋が並ぶ下町情緒に溢れた地域です。園児は鶴見川の河川敷、近隣の公園など散歩の先々で地域の人との交流があります。園内では植物を栽培し、1年を通じて自然に触れられるようにし、特にさつま芋の収穫時には、近所の人を招き焼きいもの会を楽しみます。

本法人が取り組む保護者、子育て支援策は保護者の負担を極力軽くすることです。本園ではバス旅行の全額法人負担、子どもが午睡時に使う布団のリース料負担などがあります。職員の子育て支援では、産休・育休をとりやすい体制を整え、育児期間中の短時間勤務などをサポートし、キャリアアップ研修も入所後すぐに受講できるようにし、毎年1園から一人ずつ海外研修も法人負担で行っているなど、保育士のキャリアアップ・子育て支援も手厚いようです。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年9月10日（契約日） ～ 2022年3月11日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 2016年度）

#### ⑥ 総評

##### ◇特に評価の高い点

##### 1. 子どもの行動がきめ細かに記録されている 保育士の支援に効果

こども一人一人の成長発達の記録が克明に描かれています。全園児に連絡ノートを配布し、毎日の様子を把握します。乳児の成長ぶりの把握は「保育日誌」で毎日個人別の動きを、食事、排泄、睡眠、遊び、情緒の各項目で記録し、毎月「発達確認記録」として、30細目にわたり生活習慣や、人のかかわり方の成長度が担任によりチェックされ毎月記入されています。幼児も「保育経過記録」で3、4、5歳児の子ども一人ひとりの行動が、保育所保育指針の10領域56細目にブレークダウンされたチェックポイントで3か月ごとにチェックされています。この表により、その子どもの成長、あるいは未発達の部分が一目瞭然となり、保育士のさらなる支援に役立つ優れたものとなっています、

なお同園のホームページは保育日誌、お便り、園の様子が月2回更新され、最新の情報がアップされています。

##### 2. ネイティブスピーカーによる英語のレッスン

グローバル時代、英語の習得は乳幼児からが最も効果的との考えから始まった乳幼児の英語レッスン。英語を母国語とする講師による本物の英語発音を歌などで覚える「英語で遊ぼう」が月2回木曜日に行われています。1歳児は5分間、2歳児は10分間、3歳児は20分間、4歳児は25分間、5歳児は30分間、年令に応じて飽きがこない時間幅で行っています。公立保育園では英語レッスンは行えないなか、私立である

本園では乳児から行っています。

### 3. 事故予防には、散歩中はボタンを押すだけで警備員が駆けつける仕組みがある

事故予防では特段の注意を払っています。マニュアルで子どもの発達とそれに伴う危険及び配慮を述べ、年齢ごとにその発達の特徴と予想される事故、保育者の配慮を纏めてあります。また散歩中や遊びの時、プール遊びの時などのマニュアルも作成し、細かく事故防止に努めています。もし起きた場合は事故、怪我、ヒヤリハット、インシデントの報告書に記録し、発症した要因を分析し検討することで再発を防ぐ努力をしています。インシデントは小さな悪い出来事だけでなく、良い行為も記録し、理事長へ報告する仕組みです。看護師が常時勤務し、何かの時にはすぐ対応できる心強い体制を敷いています。月1回「防犯チェックリスト」に基づき不審者、不審物対応のチェックが行われ、散歩先では子どもが遊び始める前に硝子等危険物がいないかの確認をし、職員は散歩の際、位置情報を送信するココセコムを持ち、緊急の時はボタンを押すだけで24時間警護の警備会社が駆け付ける体制です。園内の全部屋、園庭、遊具等安全点検表に基づき毎日チェックしています。用意周到な予防体制を敷いています。

#### ◇改善を求められる点

##### 1. 法人の強みを生かした系列園経営を

本法人は神奈川県に8園の保育所を運営しています。保育理念、保育姿勢は共通していません。別々の独立園となっています。利用者の立場では問題とはならないようですが、園長の個性と才覚で経営が行われています。法人としての統一された理念で共通化をはかりさらなる向上を期待します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

民間移管してから、第三者評価は今回で2回目になります。園長になって4年目で初めての受審でした。一つ一つの課題に取り組むことで、難しく思うところも多々ありましたが、

その課題に向き合い答えを出すことで、自分自身の振り返り、学びに繋がったことは間違いありません。園長として日々の園運営を振り返り、見直しを必要とする重要な時間になりました。さらに今後の課題に気づく良い機会となりました。自分自身、自園の見直しを得られる重要な時間にもなりました。

また、今回第三者評価を受審することで、全職員が保育を見直し、運営方針や保育理念を改めて共通理解する機会を持つことができ保育士たち自身の振り返りになりました。そのことで、今まで以上に職員の保育への意識が高まり、保育の質の向上につながると確信しております。

地域の方々や関係機関との連携を大切にし、子どもたちの安全・安心を計り、子どもを中心とした、信頼される保育園になるよう職員一同さらに努めてまいります。

保護者の皆様にはご多忙にもかかわらず、利用者調査にご協力いただき心より感謝申し上げます。

加えて受審に際し、評価機関の皆様にはご尽力いただき今後の課題に気づかせていただきましたことに感謝いたしております。

生麦保育園園長 田渕 弘子  
職員一同

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり